

令和6年度 神浦小学校「学力向上プラン」全体計画

【学校教育目標】 学ぶことの喜びを実感できる子どもの育成 ～やさしく・かしこく・たくましく～

【育てたい学力】

○読解力 ○問題解決力 ○表現力 ○情報活用能力 ○各教科での学びを実生活に活用できる力

「ともに学び合う子ども」 学習課題に対して自分の考えを持ち、他者との対話を通して学びを深める子ども
具体的な姿：「練り合う」「開き合う」「支え合う」「話し合う」「認め合う」「励まし合う」

「主体的に学ぶ子ども」 学ぶ楽しさを味わい、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返り、次につなげる子ども

【重点目標】 令和7年度各種学力調査において次の数値目標を設定する。

知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力において到達率90%以上

【めざす授業】 ○わかる・できる授業の実践 ○全ての児童が生き生きと学ぶ授業づくり

【学力向上を図る学習指導】

- 市・県・全国学力調査の結果分析、考察
・各学年重点単元を設定し、指導にあたる。
- 「めあて」と「まとめ」を意識した学習指導
・あじさいスタンダードに沿った授業づくり
- わかる授業の実践
・ノート指導→自分の考えやまとめを書く活動
・**発展的、補充的学習（キュビナの活用）**
・課題解決的・自力解決的な学習
→児童の自力解決のモデルとなる授業を仕組む
・**確実に文章の内容を読み取るため手立て**
→アンダーラインやマーカーを使う
- 計算・漢字等、基礎・基本の確実な習得
・音読練習（国語や算数などの教材文・詩）
・**加減乗除の計算の反復練習（プリントの活用）**
- ICTの活用
・デジタル教科書や視聴覚教材の活用
・Chromebookの効果的な使用
・情報収集活用スキルの向上とネチケット指導
- 学習規律の徹底
・用具の準備や心構えの指導（そろえる）
・相手意識や目的意識をもった聞き方や話し方の指導

【学力定着を図る場の設定】

- 個に応じた学習指導の充実
・個別指導の充実
・放課後学習の充実
・ステップアップタイム（1～3年生）
- 漢字・計算・読書等の継続的学習
・神浦タイム、読書タイムでの取組
- 語彙力を増やす場の設定
・日記指導
・国語辞典・漢字辞典の活用
- 表現力を高める場の設定
・対話の場を仕組む
・集会等での感想発表
・下校の際の代表スピーチ
・学んだことを教育活動に生かす（総合・生活）
- 生活リズムの定着
・生活リズムチェック（年3回）
・生活アンケートと個人面談（毎月）
・長期休業後の個人面談（年3回）

【評価の仕方と評価を生かす指導の改善】

- 評価規準に基づいた評価の実施（目標と指導と評価の一体化）
- 単元終末・学期末・学年末における学力定着テスト
- 評価結果の分析、指導の改善

【本校教職員の指導力向上のための研修】

- 校内研修のテーマに基づいた授業を実践し、授業力向上ならびに児童の学力向上に努める。
- 基礎学力を確かに身に付けさせる実践的指導法の研修
- 研究発表会、各種研修会への主体的な参加、研修内容の報告
- 複式カリキュラム作成

【評価結果・改善策等の公開】

○学校・学年・学級通信（学習のねらいや内容・評価等） ○保護者懇談会 ○学校支援者会議

◆読書活動

○読書タイムの推進、すき間読書の推奨、電子書籍の活用
○図書館司書と連携し、各教科での図書資料活用

◆放課後学習 ※放課後学習とは、家庭での学習や学童での学習を意味します。

○学びの習慣化→家庭との連携、『家庭（放課後）学習の手引き』の配布と情報交換
○放課後学習は、学年×10分を目標にして取り組む
○個に応じた家庭・放課後学習→日常的に、長期休業中に
○キュビナを活用した復習（週3回以上）（月間以上）

【全校での課題改善に向けた取組】

国語	○対策１（読むこと） ・物語文で場面や登場人物の気持ちについて書かれている言葉や文章に線を引くなどして、そこからどのような情景や気持ちが読み取れるかを対話しながら、明らかにする活動を行う。 ・読み聞かせや読書タイム、放課後学習などを利用して多くの本を読ませる。 ○対策２（書くこと） ・書く領域の学習の中や行事、体験学習の後のまとめをする中で、PREP 法などを用いて、自分が伝えたいことを順序や構成を考えて書く活動を行う。また、国語の教科書の後ろに載っている「ことばのたからばこ」を利用し、言いたいことに合ったことばを探させたり、使うことばを指定して文章を書かせたりして、語彙を増やす。 ・放課後学習等で、日記やスピーチ原稿を書かせる。その時に、自分の意見の根拠や自分の経験などを入れて書かせるようにする。
算数	○対策１（計算力） ・授業の中や神浦タイム、ステップアップタイムなどで、加減乗除の計算プリントや百マス計算に繰り返し取り組ませる。 ○対策２（図形・長さ・かさ・時間） ・図形の学習では、デジタル教科書を使って図形を操作したり、模型などの具体物を操作したりしながら理解を深めさせる。 ・キュービナやプリント学習で、単位の変換や長さ、かさ、時間の計算練習を反復して行う。 ○対策３（問題文の読み取り） ・問題文や定義文を全員で音読し、わかっていることや尋ねられていること、重要なことに線を引かせる。 ・場合によっては、問題を図や表、グラフなどで表させたり、具体物、半具体物で操作したりしながら、問題の内容を正確に理解させる。